

まなびっく だより

NO.2 発行日 2022年11月



【桧山業業士会出前講座一サケのチャンチャン焼きに挑戦する江差北中学校生徒達】



～令和4年度第3回理事会を終えて～

一般社団法人 檜山地域人材開発センター運営協会

会長 田畑昌伸

皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。未だ「新型コロナウイルス感染症」が収束する気配がなく、北海道では全国的にも高い水準で推移をしてきております。しかしながら、政府の「ウイズコロナ政策」によって、徐々にではありますが、人々の動きも活発になってきている状況です。各位におかれましては、油断することなく、感染症対策を十分講じてお過ごしすることをお祈りいたします。さて、第3回理事会ですが、9/26、10名の理事のご出席をいただき開催され、全議案が了承されました。理事会では、4月～9月までの上半期活動状況や予算執行状況が審議となりました。昨年と比較し、講習受講者やセンター利用者の数ですが、増加の兆しが見えてきております。また、執行状況では、エネルギー価格の値上げや生活必需品の値上げなどの影響により、これから冬を迎えるに従い、予算を上回る気配を感じております。そのような状況ですが、地域人材開発センターの役割は益々重要な任務を担っていると考えております。今後ともより一層檜山地域の経済発展の推進に努力するとともに、地域のニーズと課題を探り、魅力ある運営に努めてまいりたいと考えておりますので、是非、皆様方の積極的なご利用を職員一同お待ちしております。

第3回理事会が終了しました。

去る9月26日、午後1時30分から開催されました「第3回理事会」ですが、理事10名のご出席をいただき、全議案について承認を得ました。議案の概要版は次の通りです。

① 報告第1号「檜山地域人材開発センター運営協会会員の入退会について」

入会：2件、退会：3件 ※9月末現在会員状況 正会員 76 賛助会員 22 合計 98 会員

② 報告第2号 檜山地域人材開発センター運営協会事業実施状況について

- ・令和4年4月～9月の実施状況。
- ・技能講習では、フォークリフト運転技能講習が4/19開催し13名が受講。(コマツ)
不整地運搬車運転技能講習は5/20開催し7名が受講。(キャタピラー)
車両系建設機械(解体)運転技能講習は5/22開催し10名が受講。(キャタピラー)
- ・職業講習では、刈払機取扱作業安全運転教育が5/19と6/16の2回開催し、27名が受講。
フルハーネス型墜落制止用器具装着業務安全特別教育では、6/16に開催し、15名が受講。
チェーンソー業務従事者特別教育は、6/17に開催し、10名が受講。
一般、高校生を対象とした就活資格講習の介護初任者研修は6/19～10/9まで開講し7名が受講。
- ・住民講座では、フラダンス教室を月2回実施。パソコン関連講座は12月から1月に初心者を対象とした講座を計画中。
- ・施設利用(センター利用)では2,909人(昨年1,829人)の利用で前年比1080人の増。
- ・宿泊事業では、延べ434人(昨年282人)の利用で前年比152人の増。
まだまだコロナ禍による団体の活動自粛が続いているが、徐々に増加傾向。
- ・センター全体の利用総数は3,343人(昨年2,139人)で前年比1,204人の増。



③ 報告第3号 「檜山地域人材開発センター運営協会収支予算執行状況について」

- ・令和4年4月～9月の執行状況及び決算見込み。

① 一般会計

- ・収入9,858千円(執行率48.8%/内訳:会費1,280、事業収入4,168、補助金4,300、その他109)
決算見込額は、19,000千円で予算比▲1,200千円。
職業訓練の受講料は、当初予算より803千円増加。
- ・支出10,297千円(執行率49.7%/内訳:事業費(各種訓練等経費)7,998千円、管理費(人件費、維持管理費等)2,299千円。
決算見込額は、20,270千円で予算比▲450千円。要因は、特別会計の宿泊事業だが、昨年、国や道の支援金を頂いたが、今年度は支援金が無い。一般会計からの繰入金500千円を見込んでいる。
- ・決算見込額の収入・支出の差引額は▲750千円。

② 特別会計

- ・収入2,672千円(執行率60.0%/内訳:宿泊459、食料331、町負担金1,755、その他109)
決算見込額は、3,000千円で予算比1,000千円の減。要因は、宿泊者、食事提供の減が見込まれる。
- ・支出1,520千円(執行率38.0%/内訳:人件費760、維持管理費760)。
決算見込額は、3,863千円で予算比▲587千円。 ・決算見込額の収入・支出の差引額は13千円。

令和4年度 檜山地域人材開発センターの施設改修を実施いたしました。



宿泊研修棟の男女トイレ洋式化工事が完了しました。

◎発注者：江差町

◎施工会社：(有)若山工務店

◎概要：TOTO 製品 3基設置

男子トイレ 1基

女子トイレ 2基

・長年課題であった宿泊研修棟のトイレ改修ですが、洋式化となり、宿泊した児童生徒から評判が上々です。



檜山地域人材開発センター正面外壁改修工事が完了しました。

◎発注者：江差町

◎施工会社：(株)畑建設

◎工事概要：外壁改修工事 南面 703 m²

・平成 10 年に道立函館高等技術専門学院江差分校から（一社）檜山地域人材開発センターに移管となってから 24 年を経過しました。そのため、センター全般の外壁劣化が目立ち、風雨による外壁からの雨漏り等の支障が目立ってきたことから、江差町に要請し、計画的に外壁改修工事を施工することとなりました。

今年度はセンター正面南側の 703 m²の工事を施工しました。

春季技能講習（4月～5月）を開催しました。



「フォークリフト運転講習」

- ・日程：令和4年4月19日～22日
- ・会場：江差町運動公園駐車場
- ・受講者：13名（漁協組合員）
- ・委託先：コマツ教習所



「車両系建設機械（解体用）運転技能講習」

- ・日程：令和4年5月22日
- ・会場：人材開発センター グラウンド
- ・受講者：10名
- ・委託先：キャタピラー教習所(株)北海道教習センター



「不整地運搬車運転技能講習」

- ・日 程：令和4年5月20日～21日
- ・会 場：人材開発センターグラウンド
- ・受講者：7名
- ・委託先：キャタピラー教習所(株)北海道教習センター

- ・春季技能講習は、3講習、30名の受講者で開講しました。昨年からの募集を檜山管内だけではなく、渡島西部地区（松前、知内、福島）にもチラシを配布して募集を行ったところ、1/4は渡島管内からの受講生を占めることとなりました。定員に満たない講習も出て来ていることから、会員企業の従業員のご参加を今後ともお待ちしております。

会員の皆様からのご要望をお待ちしております！！

◎こういう講習を受講したい！という声をお寄せください。

- ・例えば、ドローンの講習を受けたいので開講して欲しい。
- ・会社の社員に資格を取らせたいが、〇〇〇〇講習を計画してもらえないか。

何でも結構です。出来る限り皆様の声を吸い上げるよう努力したいと考えていますので、ご遠慮なくお電話又はメールでお問い合わせください。お待ちしております。

TEL0139-52-0160

E-mail:jinzai-h@taupe.plala.or.jp

春季講習「安全衛生教育」「特別教育」（5月～6月）を開催しました。



「刈払機取扱い作業者安全衛生教育」

- ・日 程：令和4年5月19日、6月16日
- ・会 場：人材開発センター土木実習室
 ※雨のため、実技は土木実習室で実施
- ・受講者：8名（5/19）、19名（6/16）
- ・委託先：林業・木材製造業労働災害防止協会北海道支部 函館分会



「フルハーネス型墜落制止用器具装着業務」

- ・日 程：令和4年6月16日
- ・会 場：人材開発センター食品実習室
- ・受講者：15名
- ・委託先：キャタピラー教習所(株)北海道教習センター



「伐木（チェーン）業務従事者特別教育」

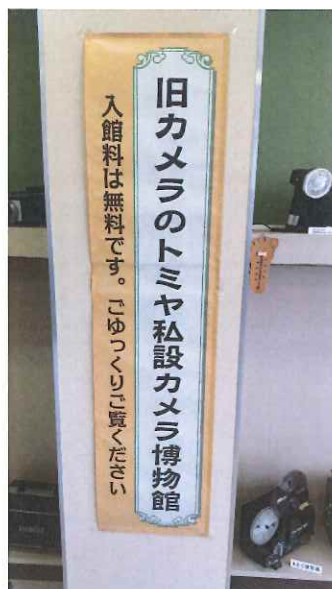
- ・ 日 程：令和4年6月17日～19日
- ・ 会 場：人材開発センター建築実習室
- ・ 受講者：10名
- ・ 委託先：キャタピラー教習所(株)北海道教習センター

・ 上半期の「安全衛生教育」「特別教育」は、52名の応募があり、昨年を上回る受講生で皆、真剣に講師の話に聞き入っていました。

人材開発センター施設有効活用事業

檜山地域人材開発センターがもっと会員の皆様や地域の皆様に活用していただくことを目的に、「人材開発センター有効活用事業」として、利用促進に努めていますので、令和4年度上半期の事業を紹介いたします。

◎2階『製図室』を利用して、江差町本町で店舗を構えていた久保康雄さんが所有していた貴重なカメラ等を展示し、「旧カメラのトミヤ私設カメラ博物館」として無料で公開をしています。

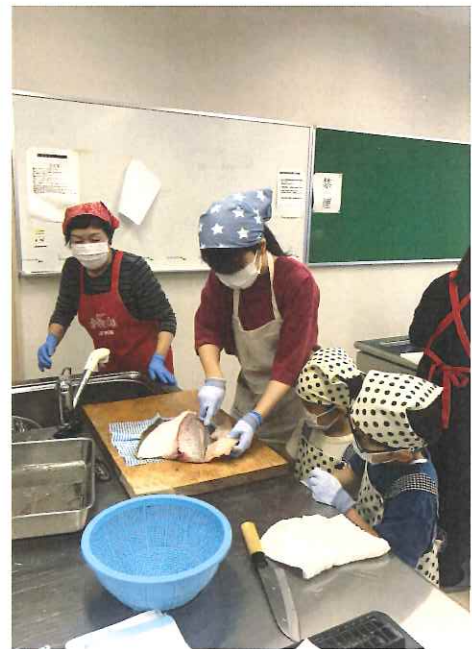




【所蔵していた昔の貴重なカメラの数々】

親子魚料理教室

- ◎主 催 江差町教育委員会
- ◎共 催 (一社) 檜山地域人材開発センター運営協会
- ◎日 時 令和4年6月19日(日) 午前11時～
- ◎場 所 檜山地域人材開発センター食品実習室
- ◎協 力 江差町食生活改善推進員
- ◎参加者 江差町民親子7組



【親子で仲良く魚を捌いている様子】



檜山漁業士会出前授業

- ◎主 催 檜山振興局水産課
- ◎共 催 檜山漁業士会
- ◎日 時 令和4年9月28日（水）午前11時～
- ◎場 所 檜山地域人材開発センター食品実習室
- ◎参加者 江差北中学校3年生17名



「 檜山漁業士会の若手漁師からの講義（「イカ釣り漁業について」「サケの定置網について）」



「料理の材料「ホタテ」地元産」「サケ」雄雌 地元産」



「サケを捌く漁師さん（雌から筋子を取り出す）」

「サケのホイール焼きに挑戦（江差北中3年生）」

※この後、サケのホイール焼きの他、ホタテ料理と筋子からイクラ作りへの挑戦などを体験し、全員で食事会を行いました。（江差北中学校生徒の体験学習の一環として実施。）

【沿革】

- 昭和 35 年 (1960) 北海道立江差職業訓練所 (この当時は江差町字砂川)
- 昭和 44 年 (1969) 北海道立江差専修職業訓練校に改称
- 昭和 59 年 (1984) 北海道立江差高等職業訓練校に改称 (江差町字南ヶ丘に改築・寄宿舍含む)
- 平成 8 年 (1996) 北海道立函館高等技術専門学院江差分校に改称

- 平成 10 年 (1998) 社団法人檜山地域人材開発センター運営協会設立
 - ・ 初代会長 若狭 大四郎氏就任 (株若狭組代表取締役)
- 平成 15 年 (2003) 「組合立檜山青年の家」廃止により江差町から要請を受け、宿泊業務を開始
- 平成 25 年 (2013) 会社法改正により、一般社団法人となる
- 平成 28 年 (2016) ・ 二代目会長 田畑昌伸氏就任 (株田畑建設代表取締役)
- 令和 3 年 (2021) 15 年ぶりに整備され「まなびっく」のグラウンドがオープンとなる
- 令和 3 年 (2021) まなびっくHPが一新される
 - 【公式】檜山地域人材開発センター運営協会 まなびっく (hiyama-manabikku.or.jp)
- 令和 4 年 (2022) 人材開発センター外壁工事 (正面) に着手する

★各町内会、各企業等で開催される各種会議、研修、講座など用途に合わせてまなびっく施設内の各種教室等を使用できます。また、OA 研修室にはパソコン 11 台が設置されている他、調理実習室には 9 台の調理台が設置されています。

会員の皆様が利用する際は、半額となりますので是非、多くの皆様のご利用をお待ちしております。

(コロナ感染症対策には十分留してお迎えいたします。)

一般社団法人

檜山地域人材開発センター運営協会

〒043-0061 檜山郡江差町字南ヶ丘7-172

TEL 0139-52-0160

FAX 0139-52-0188

E-mail: jinzai-h@taupe.plala.or.jp

発行責任者：専務理事 大坂 敏文